

第14回岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北海道大会

準決勝・決勝 戦評

【準決勝①】

朝里サッカー少年団（小樽） VS LIV FOOTBALL CLUB U-12（札幌）

1 { 0-0
0-0
延長戦
1-1
0-0
PK戦
3-4 } 1

連日、目まぐるしく天候が変わるコンディションの中、準決勝に進んだのは、小樽地区の朝里サッカー少年団と、札幌地区の LIV FOOTBALL CLUB U-12。朝里は、決勝トーナメントを接戦で勝ち上がってきた。対して LIV は、パスサッカーを主体に、危ない試合展開を繰り返してきた。両者、勢いのあるチーム同士の闘いということで、好ゲームが期待される。



朝里の kickoff。朝里は⑧⑩を中心にアグレッシブにゲームを進めていく。一方、守備的な LIV は、朝里に決定的な機会を作らず、拮抗した序盤となった。

朝里の kickoff。朝里は⑧⑩を中心にアグレッシブにゲームを進めていく。一方、守備的な LIV は、朝里に決定的な機会を作らず、拮抗した序盤となった。ファーストシュートは、1分。LIV の⑦からのパスを⑫が受けてシュート。次いで、2分。LIV⑫からパスを受けた⑫がシュートを放つも、朝里のキーパーの好セーブに阻まれる。

朝里の攻撃は、⑨のドリブルの持ち込みからチャンスを作るも、ディフェンスにクリアされる。7分。LIV の⑫から⑦につないだ展開から、⑦のシュートは朝里のキーパーのセーブに阻止される。8分。こぼれ球に反応した朝里の⑦のシュートは、惜しくもゴールバー右上に外れる。前半は、両チームともに決定機を作ることができなかった。お互いの攻撃に対して、ディフェンスの速い寄せでシュートまで至らせなかった。

後半は、LIV の kickoff。立ち上がりは、お互いに攻守の切り替えが速く、ゴールまで迫ることができなかった。先制は LIV。17分に、朝里のキーパーのクリアミスにカットした LIV の④が、ゴールエリア左から落ち着いてミドルシュート。ゴール右上にシュートを決める。朝里は⑦にボールを集め、LIV ゴールに迫るが、ことごとく LIV のディフェンスに阻まれる。22分には、朝里④-⑦-⑩とつないでシュートするも、キーパーに阻まれる。試合も残りわずか。朝里の決定機が訪れる。24分。⑨-⑩-⑨とパスをつないぎ、最後は、ゴール正面から⑦のシュートがゴール右上



最後は、ゴール正面から⑦のシュートがゴール右上

に決まる。土壇場での同点ゴールとなった。死力を尽くしたゲームは、延長戦へともつれ込んだ。

延長戦は、一進一退の攻防が続く。延長3分。朝里⑨がゴール前に飛び出し、キーパーと1対1になるも、シュートは惜しくも右上に外れる。LIVは、⑦にボールを集中させながらゲームを組み立てるが、



ゴールに迫るまでには至らない。6分。LIVの④にボールがあたり、シュートを放つもゴールの枠を外れる。決定的な場面がないまま、延長戦が終了。PK戦に入った。

PK戦の結果は、3対4でLIVの勝利。決勝にコマを進めた。負けた朝里も、3位決定戦に向けて、気持ちを切り替えていた。

両者譲らない展開が続いた。得点が物語るように、拮抗した力のもとでお互いの持ち味を遺憾なく発揮していた。朝里のスピーディーなゲーム展開に対して、LIVの粘り強いディフェンス。得点は、お互いの小さなミスを逃さない、したたかさから生まれた。この年代は、ベンチからの指示を受けて動く選手が多い中で、自分から考えてゲームをコントロールしていく選手の意識の高さが素晴らしかった。両チームの健闘を讃えたい。

【文責 小樽地区サッカー協会 秋田】

【準決勝②】

北海道コンサドーレ札幌U-12B VS 北海道コンサドーレ札幌U-12A

2 { 0-0
2-2
延長戦
0-0
0-0
PK戦
3-2 } 2

奇しくも、同じチーム同士で決勝進出の権利を争うこととなった、準決勝。北海道コンサドーレU-12A（以下コンサA）、北海道コンサドーレ札幌U-12B（以下コンサB）は同じ3-2-2のフォーメーションでキックオフ。キックオフ開始から互いに出足が早く、ボールを奪い合う。ファーストシュートはコンサA⑬。ボールを失わずにパスをつなぐコンサBに対し、コンサAはスペースへとパスを出し得点の機会をうかがう。3分、コンサBがコーナーの機会を得る。⑩の質の高いボールが上がるも得点へとはつなげられない。序盤はコンサBが相手コートへ押し込む展開。7分、コンサBはコーナーキックのこぼれ球をつなぎ⑩がシュートするも、ゴールを右隅に外れる。前半中盤依然として、



ボールの出所を素早い出足で突き相手のミスを誘い、ボールを奪い合う展開が続く。コンサA⑩ゴール中央でパスを受けて、シュートするもキーパーの正面。試合終了間際、コンサA⑨がシュートするもコンサBが懸命のブロックでゴールを許さない。前半0-0で折り返す。後半はコンサBのキックオフ。ファーストシュートはコンサB⑩の左足。しかし、力なくキーパーの正面。13分、立て続けにコンサB⑥が左足でシュートを放つも、ゴール右に外れる。14分突如試合が動く。コンサBのキーパーから



のフィードから相手DFの跳ね返りを⑬がキーパーの頭を越すシュートを決める。コンサBが先制に成功する。しかし15分コンサAがすぐに奪い返す。ゴール前の混戦の中から⑩がシュートを放ち、ゴール。同点に追いつく。17分、コンサB⑥がゴール前にドリブルで持ち込んでシュートを放ち、逆転に成功。19分、コンサA⑩が左サイドへと切り込み、クロスを上げるもキーパーがはじき出すが、そのこぼれ球を⑩へとつなぎ、そのまま落ち着いて2点目を奪う。23分コンサAがコーナーキックのチャンスを得るも得点へと結び付けられない。前後半で決着がつかず2-2のまま延長戦へ。延長前半、キックオフはコンサA。25分、ファーストシュートはコンサB⑥左足でシュートを放つもゴール右に外れる。26分、コンサA⑬が左サイドへドリブルで切り込み、ゴール中央にいた⑩へとパスするも相手DFに阻まれる。しかし、コンサAがそのこぼれ球をシュートするもキーパー正面。延長前半終了。延長後半29分、コンサA⑩が左足でシュートを放つもゴール左に外れる。コンサB⑥が右サイドをドリブルで駆け上がり、左サイドを走っていた⑩にパスを出すも追いつかず、シュートまで持ち込めなかった。延長戦でも決着がつかず、PK戦へ。

先攻は、コンサA。コンサBのキーパーが左に跳ぶも、⑩が落ち着いてゴール中央に決める。後攻は、コンサB。⑩が左足を一闪。ゴール中央に決める。コンサA 2人目は、⑨右足でゴール左サイドネットに突き刺す。コンサB 2人目は、③キーパーの動きを読み、ゴール右に決める。コンサA 3人目は、③ゴール右を狙いシュートを放つも抜群のタイミングでコンサBのキーパーがそのボールに反応し、ゴールを死守。決めれば決勝進出が懸かる、コンサBのキッカーは⑦。右足を一闪し、プレッシャーを跳ね除けゴール左に決める。試合終了のホイッスルが鳴り響く。激戦を制した、コンサB。初の決勝進出を果たした。



【文責 小樽地区サッカー協会 八木 柴田】

【決勝】

LIV FOOTBALL CLUB U-12 V S 北海道コンサドーレ札幌U-12B

0 { 0-0
0-0
延長戦
0-0
0-0 } 0
PK戦
3-2

互いに初の決勝進出。LIV FOOTBALL CLUB U-12（以下、LIV）、北海道コンサドーレ札幌U-12B（コンサB）は同じ 3-2-2 の布陣。コンサドーレのキックオフ。1分、ファーストシュートはコンサB。③が右サイドからミドルシュートを放つも、キーパーに阻まれる。3分、左からのコーナーキックをコンサ



が得る。コンサ⑩の質の高いクロスが上がるも、相手DFにクリアされる。4分、コンサB⑩から⑧へ、ゴール中央にいた⑥とつなぎ、⑥がシュートを放つもゴール左上に外れる。5分、コンサ⑥が右サイドで倒され、フリーキックを得るもチャンスをものにできない。9分、コンサB⑩のセンタリングを受けた③がミドルシュートを放つもゴールバー上に外れる。コンサBの攻撃は続く。⑩がセンターサークル付近でドリブルを開始し、相手DFライン裏にスルーパスを供給するも、キーパーにキャ

ッチされる。さらに、コンサBは左サイドで⑨の素晴らしいボール奪取からそのままドリブルで持ち込み⑩へとパス。シュートを狙うも相手DFに阻まれる。10分、コンサB③からスルーパスを受けた④がシュートを放つもキーパーの正面。前半終了。チャンスを多く作るが、得点を奪えないコンサB。対するLIVはチャンスすら作らせてもらえず、我慢が続く。後半は、LIVのキックオフ。13分、開始早々コンサ⑩のドリブルから左サイド⑪へ展開。PA内に切り込んできた⑪LIV、DFが体を張って阻む⑪を倒してしまい、PKのチャンスを得る。コンサ⑩がPKを蹴るが、ポストに阻まれ、跳ね返りを打ち返すがキーパーの好セーブに合う。14分、LIVのファーストシュート。混戦からこぼれたボールをLIV④9がシュートから放つもバーに阻まれ、チャンスを生かせない。16分、コンサ⑩ドリブルで中央からドリブルで駆け上がり、シュートを放つも、バーの上を越えていくなど決定機を欠く。18分LIVのコーナーから一度クリアされるが、そのボールを⑤がシュートを放つも相手DFに当たり、コーナーキックを得る。19分、LIV④9が左サイドをドリブルで駆け上がり、シュートを放つがゴール左隅に外れる。19分LIV③4のボールカットからそのまま持ちこみ、シュートを放つがコンサ⑥がゴール前で体を張って点を防いだ。23分、コンサ⑦相手コート中央からキーパーの頭上を狙うもキーパーが好セーブ。得点を許さない。24分⑩のコーナーからこぼれ球を⑦がシュート



⑦がシュート

するもゴール左隅に外れる。決着がつかず、延長戦へ。延長前半、キックオフは、LIV。25分コンサ



⑩がピッチ中央でボールを奪い、右サイド⑥に展開し、⑥がシュートを放つもゴール左隅に外れる。25分、コンサ⑦が冷静に左サイドへ展開。⑥から縦にいた⑩とつないで相手陣内へと攻めあがるがオフサイドとなる。27分コンサBのフリーキック。⑦がシュートを放つがゴール左隅に外れる。延長後半28分、一度下げたボールをコンサ⑦がシュートを放つがキーパーの正面となる。29分、混戦の中からこぼれてきたボールをコンサ⑦のシュート。⑫から⑦がパスを受けて体制を崩しながらシュートを懸命に放つもゴール右に外れる。コンサB⑧のカットから⑪にスルーパスを通すも相手DFに阻まれ、ゴールとはならなかった。互いに準決勝に引き続いてPK戦に突入。

●PK戦 先攻は、コンサ。1人目は、⑩。左足でキーパーの動きを落ち着いて見て、ゴール真ん中に決める。LIV 1人目は⑪。滑りやすくなった芝に足をとられながらシュートを放つが、ゴールに吸い込まれてゴール。コンサ2人目は③右足でゴール左上に叩き込む。続くLIVは、右足でゴール左隅にきれいに決める。コンサ3人目は⑦。右足でシュートを放つも惜しくもバーに阻まれる。続くLIV。⑫が右足で左上に冷静に決めた。予選で負けている相手に雪辱を果たし、初優勝を飾った。

【文責 小樽地区サッカー協会 八木 秋田】



優勝

LIV FOOTBALL CLUB U-12



準優勝

北海道コンサドーレ札幌U-12B